

平成29年度第1回学校評議員会が開催されました。

日 時： 平成29年6月13日（火） 14：30～17：00

場 所： 堅田高等学校 会議室

出席者： 学校評議員 今川委員 寺田委員 東委員 谷川委員

学校 藤支校長 藤戸教頭 小野教務主任

大辻生徒指導課代表（代理） 西村進路指導主任

善村1年学年主任 正木2年学年主任 岡崎3年学年主任

（欠席者）村田委員

【開会挨拶】 校長より

【出席者自己紹介】 各出席者より

【平成29年度学校経営方針、実施状況の説明】

- 1 本校教育活動の現状と課題について・・・教頭より
学年5クラス200名定員。教員40数名。

（1）校訓、教育目標、重点目標等の説明。

①教育目標

校訓である『和と礼讓』の精神に則り、知性・品格・豊かな人間性を育むとともに、地域社会に貢献する人材の育成を図る。

「和と礼讓」の精神とは、お互いに尊重しあい、穏やかな連帯感のある集団を形成しながら、礼儀正しく謙虚に生きていくことを意味する。

この国の歴史、風土、文化等を受け継ぎながら、知性・品格・豊かな人間性を育むことにより、広く敬愛される人格形成に努める。

本校は、戦後まもなく地元住民の熱意・結束・献身により創立された。以来、常に地域と一体になった学校づくりが推進され、地域社会の発展を支える人材を輩出することが期待されている。

②重点目標

教育目標を達成するため、本年度の重点目標として次の4つに取り組む。

- i 基礎的な学力の定着と発展的な学力の伸長を図る。
- ii 一人ひとりの希望に応じた進路指導の充実を図る。
- iii 明るく健全な学校生活を送れるよう支援する。
- iv 地域の一員として地域に貢献する態度を養う。

(補足) 規範意識の醸成をめざす。

堅田探訪で地域を知る。

堅田学区「ふれあいクリーン作戦」等地域活動も実施する。

生徒の多様な進路希望に応じたきめ細かい進路指導

キャリア教育の充実

課題を抱える生徒への丁寧な対応

2 指導方針、重点目標について・・・各分掌より

(1) 学習指導について・・・教務主任より

(指導方針) 確かな学力の育成

(重点目標)

- ①基本的な学習習慣の確立
- ②自主的な図書委員会活動の推進と読書指導
- ③情報収集・活用能力の育成
- ④教育課程の検討
- ⑤生徒の学習実態の把握と授業改善
- ⑥道徳教育の推進

(コメント)

- ①落ち着いた雰囲気での授業が行われている。
- ②各時限の予鈴で入室し、授業の準備にあたる習慣が確立されている。
- ③早朝の補習授業も継続している。小テストや週末課題の取り組みを実施している。また、予習のチェックも行われている。

(2) 生徒指導について・・・大辻（代理）

(指導方針) 「あじみ指導」による規範意識の醸成

(重点目標)

- ①生活指導
 - ・基本的な生活習慣の確立 ー遅刻防止に向けて
 - ・服装指導の充実
 - ・マナー教育の推進
 - ・巡視指導の徹底
 - ・いじめの未然防止
- ②生徒会
 - ・生徒会活動の推進
- ③管理
 - ・校内美化に向けた意識啓発と条件整備

- ・「有隣館」の管理
- ・ 防災・安全の教育推進
- ④人権教育
 - ・ 健全な心身の育成
 - －人権教育の推進
 - －教育相談体制の充実
 - －特別支援教育体制の整備
- ⑤健康
 - ・ 健全な心身の育成
 - －保健教育の推進
 - －健康に対する意識啓発

(コメント)

- ①「あじみ指導」(挨拶の励行、時間を守る、身だしなみを整える)を徹底させている。
- ②当たり前のことを当たり前に行うことが大事と考えている。
- ③問題行動が激減している。
- ④部活が元気です。
- ⑤雁翔祭の取り組みが盛んである。
- ⑦いじめ対策もたてている。
- ⑧健康対策に気配りをしている。

(4) 進路指導について・・・西村先生

(指導方針)「進路実現」の達成

(重点目標)

- ①職業観勤労観の育成を目指したキャリア教育の推進
- ②個々の適性に応じた進路指導の充実
- ③進路実現に必要な学力の伸長
- ④進路開拓の実施

(コメント)

- ①多様な進路目標に対する、きめ細かな指導に努めている。
- ②昨年度の進路実績について。
- ③就職希望者に成績上位層が多い。

(5) 第一学年について・・・善村先生

(指導方針) 真の力を形成したい。

(重点目標)

- ①基本的な生活習慣の確立
- ②学習の習慣化を図り、学力を向上させる
- ③部活動に積極的に参加させ取り組ませる

(コメント)

保護者からの欠席連絡も必ず入る。

予鈴で行動できる。

落ち着いているが、積極的な力はまだ乏しく指導していきたい。

(6) 第二学年について・・・正木先生

(指導方針) 底上げと上昇

(重点目標)

- ①高校生としての基本的な生活習慣の確立
- ②学習の習慣化を図り、進路実現の為に必要な力を身につけさせる
- ③修学旅行を成功させる取り組み

(コメント)

修学旅行を成功させたい。

生徒の底上げと力のある生徒のさらなる向上を図る。

(7) 第三学年について・・・岡崎先生

(指導方針) 希望する進路実現をかなえる。

(重点目標)

- ①希望進路の実現　一個々に応じた学習指導
- ②最高学年にふさわしい生活態度を身につける
 - －基本的な生活習慣の定着と将来を見すえた社会性の育成

(コメント)

4年制大学・短期大学・就職・公務員・看護専門学校・その他の専門学校と多岐にわたるが、進路指導課とスクラム組んで生徒の力を伸ばしたい。

(8) 特別支援教育について

- ①特別な支援必要とする生徒が増加傾向にある。
- ②課題を抱える生徒への丁寧な対応をしている。

(9) 部活動について

- ①ウエイトリフティング部、女子ソフトテニス部がインターハイへの出場を決めている。

- ②ウエイトリフティング部、女子ソフトテニス部、剣道部が近畿大会に出場する。
- ③カヌー（本校に部活がないが8年後の国体に向けた施策で活動）が近畿大会、インターハイに出場する。
- ④全国高等学校総合文化祭に本校から吟詠剣詩舞部門に出場する。

(10) 入学者選抜について

- ①ここ4年間、推薦選抜も一般選抜も倍率が1・00を超えている。中学生が「ここで学びたい」と思える学校にしていきたい。
- ②中学生や保護者に対して、今年度も2回体験入学を実施する。

(11) 学校評価と改善策について

- ・平成29年度学校改善策について説明

【学校評議員からの主な提言】

○：学校評議員の提言（意見）や質問

●：学校側の発言

○部活は1年生全員加入なのか。

●そうです、全員加入を呼びかけている。今年度5月の調査では、全校生徒の77%が部活に加入している。

○キャリア教育とは何をするのか。

●今年度、県から指定を受け、生徒の「進路実現」を叶えていきたい。10年後に職種がIT等により、大きく変わるといわれている中、「生きる力」を身につけさせる行事を実施している。それがキャリア教育の一環ととらえている。インターンシップや講演も企画している。

○読書指導とは何をしているのか。

●3学年とも現代文の授業で最初の10分間、読書活動をしている。図書館が40冊単位で購入している。

○特別支援を必要とする生徒への対応はどうしているのか。

●個々に対応している。黒板ではユニバーサルデザインで対応できるように研修している。

○江州音頭を教えてあげてほしい。

●江州音頭ではないが、堅田探訪で淡海節を披露している。

○授業参観で学年のカラーがあるなと思いました。

○ダンスの授業でダンスを見守る生徒の姿がほほえましい。書道では思うままに表現している。

○挨拶の励行の自己評価が低いですが、皆がよく挨拶してくれる。

○地域に部活メンバーが貢献している。

○部活動の77%の実態はどうか。

●1年生はほとんど加入しているが2年・3年に継続する生徒が少なく、本校の課題ととらえている。

○生徒の挨拶がよくできている。しかし、先生も挨拶を返してあげてほしい。

●教員が挨拶をしないというのは気づいていないことはあっても無視することは100%ない。生徒指導課も学年も励行している。

●4月から赴任して、生徒の挨拶に気持ちよく関わっている。なぜ、自己評価でBとなるか、不思議だ。

●それは本校における教員の生徒に求める基準が高いからである。

○SNSについて心配事はないか。

●よりよい人間関係が築けるように、言葉の使い方も指導している。

【閉会挨拶】 校長より